



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 新潟市東総合スポーツセンター
 試合区分： 少年男子 決勝
 開催期日： 2009年10月5日(月)
 開始時間： 10:00

GAME No. 1005F1

主審： 佐藤 誠
 副審： 緒方 崇

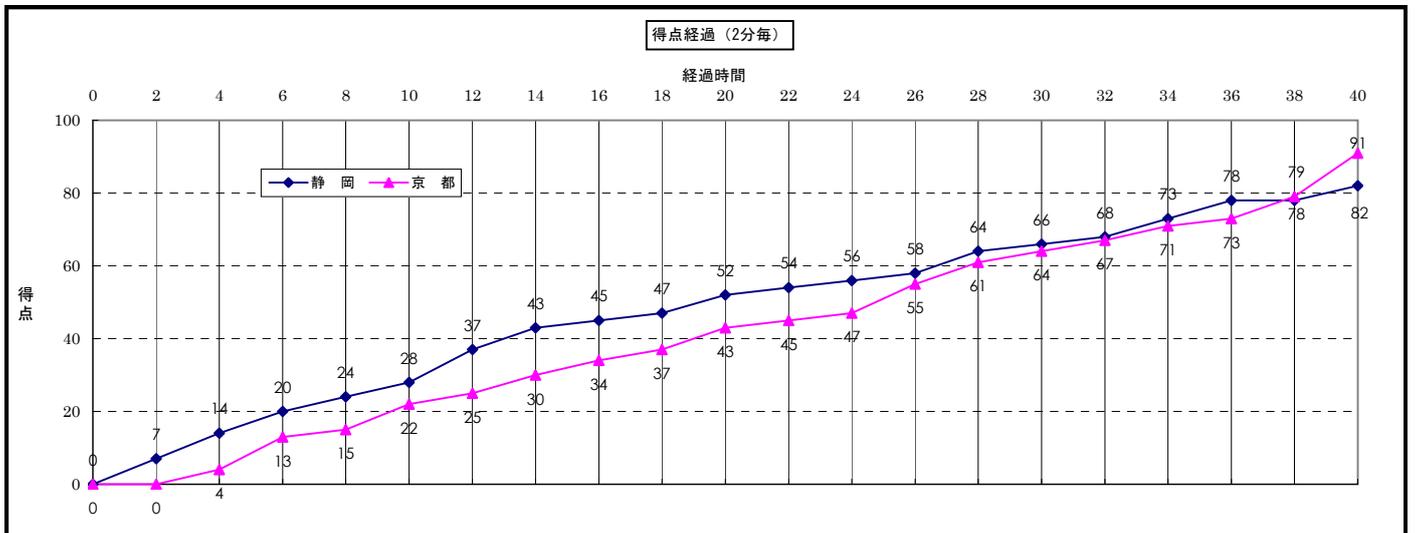
Team A	●	28 -1st- 22 24 -2nd- 21 14 -3rd- 21 16 -4th- 27	○	Team B
静岡	82		91	京都

TEAM A		静岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	藤井 祐真	21	3	6	0	1
5	*	羅 中杰	20	0	10	0	4
6	*	永井 裕也	2	0	0	2	0
7	*	鈴木 友貴	22	1	9	1	3
8	*	古本 樹	2	0	1	0	2
9		張 曉博	0	0	0	0	3
10		石川 琢巳	3	1	0	0	1
11		古橋 広樹	9	1	2	2	3
12		曾根 秀介	-	-	-	-	-
13		大澤 歩	3	0	1	1	0
14		大野 陽平	-	-	-	-	-
15		金子 大斗	-	-	-	-	-
Coach		大橋 俊	-	-	-	-	0
TOTAL			82	6	29	6	17

TEAM B		京都					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	蛭名 涼	8	0	3	2	4
5	*	小林 遥太	16	1	5	3	2
6	*	鈴木 高範	14	1	5	1	3
7		河上 宗平	22	0	8	6	1
8		塩谷 亨	9	1	3	0	0
9		大八木 誉之	-	-	-	-	-
10		高畑 勇吾	-	-	-	-	-
11	*	木村 晃大	8	0	4	0	0
12		平野 哲朗	-	-	-	-	-
13		笹山 貴哉	-	-	-	-	-
14	*	満山 拓末	14	2	4	0	2
15		荒谷 優斗	-	-	-	-	-
Coach		作本 信夫雄	-	-	-	-	0
TOTAL			91	5	32	12	12

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	-	-	23:52	31:31	38:20		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	11:58	17:32	33:06	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

少年男子決勝は、攻撃力の静岡と、試合巧者の京都との戦いとなった。

1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、主導権を握ったのは静岡。#4藤井の3Pシュートなどで得点を重ね、開始3分で10-0と静岡がリード。京都は#5小林がインサイドでシュートを決めるなど、反撃を開始。その後も、京都は#6鈴山の3Pシュートなどで追いつき、このクォーターは28-22で終了。

2Q、#4藤井と#5羅の2対2から得点した静岡はその後得点を重ね、開始2分で37-25と、リードを12点に広げる。ここでタイムアウトを請求した京都はディフェンスを1:2:2ゾーンプレスに切り替え、逆襲を試みる。一気に引き離したい静岡は、残り1分、2:2:1ゾーンプレスに切り替えるが、京都#7河上らがゴール下で得点を重ねる。前半は52-43で静岡が9点リードして折り返す。

3Q、両者とも流れをつかめないまま時間が経過する。残り6分、京都#14満山が速攻を決めて54-47した後、京都は1:2:2から3:2のゾーンディフェンスに切り替える。静岡は#7鈴木が3Pシュートなどで応戦するも、京都は残り4分から#7河上らが立て続けにドライブで切り込み、静岡ディフェンスのファウルを誘う。京都はフリースローを着実に決めて同点とするが、静岡は#4藤井のステップインシュートで逆転し、66-64で静岡がリードして終了。

4Q、京都#7河上がインサイドで得点すれば、静岡#4藤井が3Pシュートを決めるなど、両者譲らぬ攻防となる。その後も1点を争う息詰まる攻防が続く。残り1分40秒、京都#14満山が速攻を決めて78-81となったところで静岡はタイムアウトを請求。オールコートで圧力をかけるが、京都は#6鈴山らが着実に加点する。最後は京都#8塩谷が残り1秒で放った3Pシュートが決まり、82-91で京都が2年連続7回目の優勝を飾った。

記載責任者 外山 徹宏 (所属) 新潟県バスケットボール協会